

⑩ 津波(に)薪(は)い(の)プロジェクト (24)

今回の大津波の^{はたして}~~前~~人間は人命・財産・生活と成り
たぬを失ってしまいました。しかしこの津波を
利用して新たな~~意味~~ことで、大量に発生した
住宅廃材を薪に替えて、津波の被害のあった
日本の多くの薪ユーザーに大買上を促すとき、直接
薪を生産している被災者の方へ貸金として提供す
ることによって、おなかで何かその方の生活再生の支援
とともに、おしごとを失い、~~おしごと~~おしごとを失った被災者の方
に労働という日常の機会を与え、生活のリズムをとり
明日への希望の一端となっていられることを願っています。

薪をスーパーマーケットで買った夕立ポリ箱に
詰め、送料着払いの宅配便に郵便振替用紙を
つけてお送り(生産者の二枚)をして送り。

一応 ¥1000~程度目安として金額は白紙に
箱の大きさに1行の書き込みを、お送り先の市町村
として当然の支援金としてプラスの期待が大。

※ スーパーの夕立ポリ利用、お金のやり取り、送付に便利、何れも資源の
リユースとして環境にいいおしごとです。 文 NPO日本薪材協 前野 和也